

アジア政経学会 2014年度第1回評議員会 議事録

1. 日時 2014年5月31日(土) 12:30~13:30

2. 会場 慶應義塾大学藤沢キャンパス α館4階会議室

3. 評議員総数 15名

4. 出席者 12名

家近亮子、石井明、絵所秀紀、小此木政夫、加藤弘之、木宮正史、添谷芳秀、田中明彦、唐亮、藤原帰一、古田元夫、山影進

5. 議長 藤原(竹中)理事長

6. 議事

(ア) 12時30分に竹中千春理事長が議長席に着き、開会を宣言、加茂理事からアジア政経学会全国大会の開催状況が報告。川島真・総務担当理事から、本日の評議員会は欠席者3名であり、定足満たしているため、有効に成立する旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として、古田、木宮氏の二名を指名し、いずれもこれを受諾した。その後、議案の審議に入った。

(イ) 前回(2014年3月28日)の理事会議事録の確認が行われた。

(ウ) 秋の東日本大会の開催校の責任者である武田康裕会員、平成27年度全国大会の開催校の責任者である伊藤剛会員も参加している旨が報告された。

(エ) 川島理事より、法人化業務に関して、関係者の協力に対する謝辞が述べられた。竹中理事長も、川島理事を始めとする関係者への協力に謝辞を述べた。

◆議案1 平成25年度事業報告・事業報告附属明細書に関して

事業報告に関して、配布資料①に基づき、川島理事より説明が行われた。川島理事の報告ののち、竹中理事長より、『アジア研究』へのJ-STAGEの採用を重要性が提案され、本件に関しては丸川副理事長を中心に対応が進められている旨、説明された。評議員からは本件に対する異議はなく、承認された。

◆議案2 平成25年度会計報告に関して

会計報告に関して、配布資料②、③、④に基づき、小嶋理事より説明が行われた。特に小嶋理事からは、現在予算を大幅に超過し、赤字会計となっていることの重要性が指摘され、早急に財務状況を改善すべきであることが指摘された。各種課題に関しては会計監査でも指摘されているが、特に会員からの会費徴収の徹底が不可欠であると説明された。評議員

からは本件に対する異議はなく、承認された。

◆議案 3 評議員の辞任に関して

竹中理事長より、深川評議員が一身上の都合で辞任する旨、説明された。詳細に関しては川島理事より説明された。その後、現在の 14 名で今後の評議員会を構成するか、新たに補欠を補充するか、意見聴衆が行われたが、絵所評議員より現在の 14 名のままでよいのではないかという提案があり、賛成多数で承認された。

◆議案 4 法人登録に関して

川島理事より法人登記に関して、多数の書類を作成した旨、説明され、その書類作成に際して多くの理事・評議員のご協力を頂いたことへの謝辞が述べられた。その上で、次回の理事選出の際にも同様の手間がかかると思われるので、今後の対応を検討すべきだと指摘された。竹中理事長も、この点の重要性を認識した。

以 上

竹中理事長が 13 時 30 分、閉会を宣言して審議を終了した。